



笑顔いっぱい

長子配布
令和6年度9月号

武雄市立武雄小学校 情報新聞

校長だより

武雄市教育大綱

文責 田崎 正剛



【学校教育目標】

夢と志をもち、意欲的に取り組み、自己肯定感に満ちた児童の育成

【児童の合い言葉】

ふわふわことばと思いやり みんな にこにこ たけおっ子

1学期後半スタート

夏休みは、子どもたちにとって貴重な体験ができたでしょうか？体験は、どこかに行かなければできないなんてことは全くありません。例えば、料理を作る（効率的な手順・喜んでもらえる）、お客様を迎える（礼儀作法）、ラジオ体操に行く（早寝早起き・習慣化）、自由研究をする（観察力・継続力）などなど、身近なところにこそチャンスが転がっているような気がします。また、「こんな力がついたね」と言ってもらえると子どもにとってその体験の価値は何倍にもなります。

さて、8月26日（月）から1学期の後半がスタートしました。12月まで、さまざまな成長のチャンスがあります。体験的な活動では、スケッチ会、ふれあいフェスタ、修学旅行や宿泊学習、そして国スポ・全障スポ観戦。日常では、涼しくなり落ち着いて学習に専念できる時期となります。

また、9月2日（月）から6日（金）までの一週間は、「第2回来てみてウィーク」を設けています。もし可能なら、「一緒に歩いて登校して危険個所を確認する」「運動場で子どもたちと遊ぶ」「他の学年・学級の様子を見学する」「読み聞かせを見学する、してみる（5日：6年生）」など、ご家族もいろんな体験されてみてはいかがでしょうか。

雄武町との交流

7月26日（金）に6年生が雄武町の5・6年生11名と交流会をしました。6年生は武雄の良さ紹介やゲーム、プール、柄崎太鼓の披露をしっかりと行いました。雄武町の子どもたちは、暑さの違い、プールが外にあることに驚くとともに、自分たちも学校でしている太鼓をお返しに披露してくれました。



オリンピックから学ぶこと

この4年に1度の大会のためにあらゆる時間と努力を費やしてきたオリンピック。個人種目、ペア種目、団体種目と大きく3つに分かれます。どの競技でも必ずライバルや仲間、支えるスタッフがいます。結果がどうであろうと世界最高峰の戦いに感服します。

一方で、期待を一気に背負った重圧は、どれほど精神的な負荷がかかったことでしょうか。また、メダルを期待されていたが届かなかった人に対する誹謗中傷には、どれほど傷ついたでしょう。

オリンピックを通して学ぶことは、「①一生懸命頑張る、高みを目指す志と努力」「②一人ではなくチームで支えあう」「③国を超えて精一杯応援したり拍手を送ったりする」「④根拠のない誹謗中傷は人を傷つけてしまう」ことだと思います。このことは、日常でも起こりえます。①～③を学校では実践してほしいと願います。

防煙教室

7月16日に6年生を対象として学校薬剤師の椛島先生より防煙教室を実施していただきました。有害物質が200種類もあるそうです！！

